

合理的耐震改修のために“どうしても必要な”達人診断R1/T.S.の操作ガイド

～合板補強と共に金物補強しよう！～

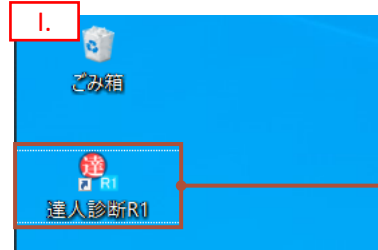
2022年3月 (株)えびす建築研究所

操作の流れ

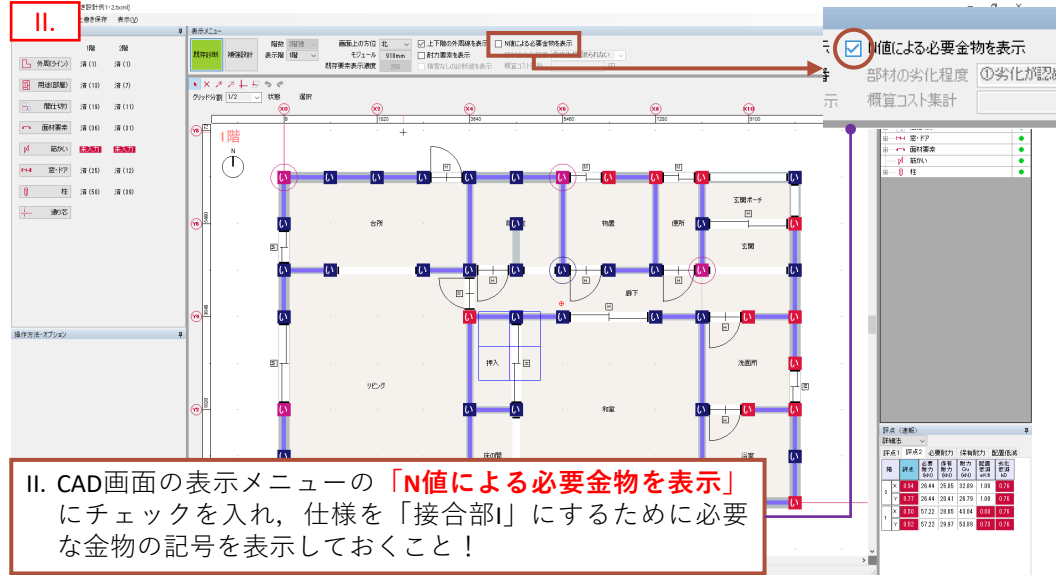
- I. 達人診断R1またはT.S.を起動
- II. 建物概要フォームおよびCAD入力画面にデータを入力して現況診断を実行
- III. 補強設計へ移行
- IV. 補強用面材を入力したら端部の柱を選択（必要なら複数の柱をまとめて選択）
- V. 操作方法・オプションの**基準法(告示1460号に適合)**にチェックを入れ、仕様を「接合部I」とする

※ 接合部の柱頭・柱脚リストで**必要金物未滿の金物**を選択すると仕様が「接合部II」となる

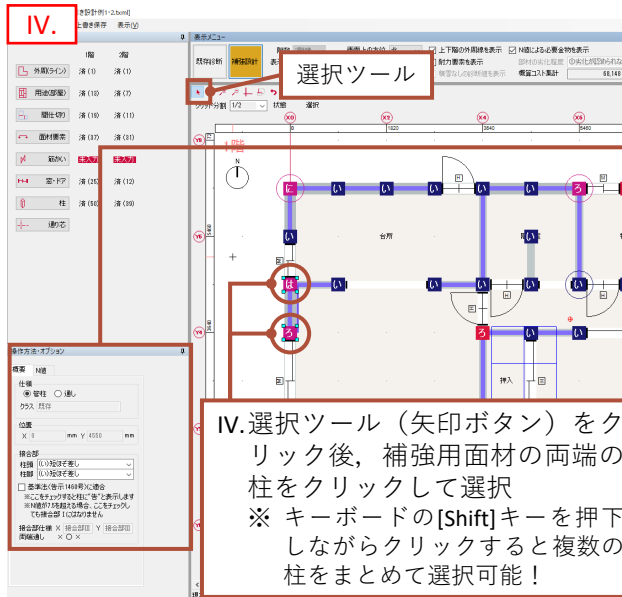
接合部補強を行うことで面材の耐力を向上させ、少ない壁枚数での補強設計が可能となる！



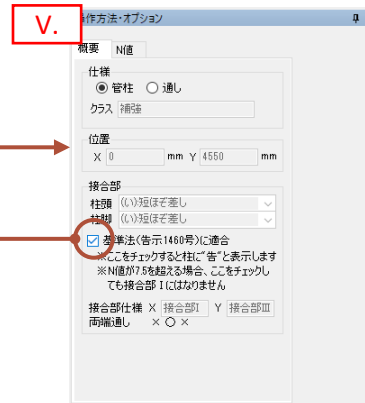
I. ショートカットアイコンをダブルクリック
※ T.S.を選択すると、「N値による接合部Iの自動算定」が利用可能



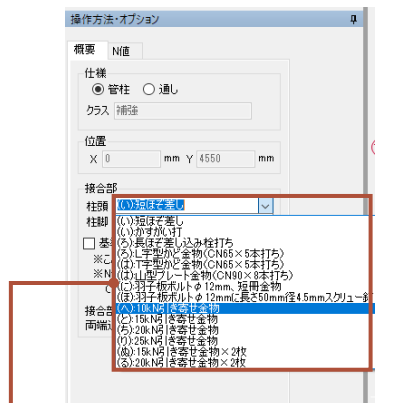
II. CAD画面の表示メニューの「N値による必要金物を表示」にチェックを入れ、仕様を「接合部I」にするために必要な金物の記号を表示しておくこと！



IV. 選択ツール（矢印ボタン）をクリック後、補強用面材の両端の柱をクリックして選択
※ キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックすると複数の柱をまとめて選択可能！



V. 「基準法(告示1460号)に適合」にチェックを付け、両端の柱の仕様を「接合部I」とする（柱の色は青）



V. 必要金物未滿の金物を選択すると、接合部IIで耐力評価される（柱の色は紫）